

## 仕様書

再生可能エネルギー部

1. 件 名：（大項目）太陽光発電導入拡大等技術開発事業  
（中項目）動向調査研究  
（小項目）太陽光発電の技術・産業・市場動向に関する総合調査

## 2. 研究開発の目的及び内容

地球温暖化問題への関心の高まりから、世界では主要国を中心に 2050 年までのカーボンニュートラル実現を表明している。日本も 2020 年 10 月に 2050 年カーボンニュートラル宣言を発表し、2030 年度には温室効果ガスを 2013 年度から 46%削減することを目指している。カーボンニュートラル実現のためには、再生可能エネルギーの導入が欠かせず、中でも太陽光発電は、他の再生可能エネルギーに比べ、発電コストが安価であること、計画から運転開始までのリードタイムが短いこと、太陽電池モジュールの設置枚数等で設備の規模を比較的柔軟に設計できることなどから、太陽光発電に寄せられる期待は年々大きくなっている。

2025 年 2 月 18 日に閣議決定された第 7 次エネルギー基本計画では、再生可能エネルギーを主力電源として最大限導入する目標を掲げており、その中でも太陽光発電は 2040 年度の電源構成の見通しにおいて 23～29%を占めるとされている。

そうした背景を踏まえ、本調査では、太陽光発電の技術開発の方向性や普及方策の分析、太陽光発電に係る原材料、セル、モジュール、システム、パワーコンディショナーおよび太陽光発電が導入される分野に関する特許の分析、国内外の技術や産業・市場動向（シリコン太陽電池、ペロブスカイト太陽電池の国内外の太陽光発電関係企業のシェアや生産状況、販売実績等を含む。）や今後の太陽光発電の導入拡大に資する基礎情報の調査を行い、その結果をタイムリーに技術開発へフィードバックする。調査範囲にリサイクル及び標準化に関する内容は含まない。

## 3. 研究開発期間

NEDO の指示する日から 2028 年 3 月 31 日

## 4. 中間年報、成果報告書の提出

中間年報（毎年）、成果報告書の電子ファイル一式を、所定の期日までに NEDO プロジェクトマネジメントシステムで提出すること。

## 5. その他重要事項

委託期間中あるいは委託期間終了後に、成果報告会（年 1 回程度想定）等における報告を求めることがある。